

# 県 体 卓 球 競 技 要 項

## **2019年度**

### 1 【期日・時間】

- (1) 第1日            5月25日(土)      9:00～      (開始式 8:50～)  
(2) 第2日            5月26日(日)      9:00～

### 2 【会 場】

県民体育館(主競技場)

### 3 【種 目】

男女とも学校対抗、ダブルス、シングルス。

### 4 【競技規定】

全国IHに準じ、日本卓球協会規則による。

### 5 【競技方法】

#### (1) 学校対抗の部

- ①選手は4名～7名とし、補欠は認めない。  
②勝敗は4名～6名による1ダブルス4シングルスの5試合3点先取で決する。

1	2	3	4	5
S	S	D	S	S

\* S 1・2番の選手だけでDを組めない

- ③試合は3～4チームのグループに分け予選リーグを行い、決勝トーナメント戦を行う。

#### (2) 個人の部

- ① 男女ダブルス  
② 男女シングルス

### 6 【参加資格】

高知県高等学校体育大会一般要項に従う。

### 7 【参加制限】

- (1) 学校対抗の部は、男女とも各校代表1チーム。代表チームの人員は、男女とも監督1名、選手4名以上7名以内とする。ただし、審判要員として別に2名まで認める。  
(2) 個人シングルの部は、男女とも各校8名以内とする。  
(3) 個人ダブルスの部は、男女とも各校4組以内とする。  
(4) 外国人留学生の参加については、全国高等学校体育連盟卓球専門部内規「(4) 外国籍選手の大会出場制限」による。

## 8【申 込】

申込み手順は以下のとおりとする

- (1) 申込期限は平成 31 年 4 月 25 日（木）までとする。
- (2) 高体連HPまたは卓球専門部のHPに入る (<http://buden.pop.tc/>)。
- (3) 参加申込みを開き出場選手（T，D，S）を決定する。
- (4) 申込書を印刷し送信、参加受付数を確認する。
- (5) 申込書に校長印を押印し体育主任に提出する。

## 9【表 彰】

学校対抗、個人シングルス、個人ダブルスとも 3 位まで賞状を授与する。

## 10【連絡事項】

- (1) ベンチコーチは、所定の場所で行うことを認める。ただし、監督とアドバイザー男女各 2 名と当該高校部員（男女問わない）のみとする。監督は(公財)日本卓球協会発行の平成 31 年度役員章を着用すること。
- (2) 正規の休憩時間以外に試合を中断しないこと。 (25cm×20cm)
- (3) 背中に右図のようなゼッケンを必ず付けること。
- (4) 試合球は(公財)日本卓球協会公認プラスチック球：40mm ホワイトとする。本部では「ニッタク プラ3スタープレミアム」「タマス A40+」「TSP CP40+」を用意する。
- (5) 団体及びダブルスの服装は、同じユニフォームとする。(ユニフォームは、J T T A マーク入りが望ましい)
- (6) 申込書は顧問が作成すること。その際、申し込み人数の枠を越えないように注意すること。
- (7) 第 1 日目は、ダブルスの 8 決定までと学校対抗の決勝までとする。
- (8) 第 2 日目は、ダブルス、シングルの決勝までとする。
- (9) シングルス、ダブルスにおける選手の変更は認めない。
- (10) 全国 I H 及び四国 I H への出場資格
  - ① 全国 I H

団 体	男女とも 1 位
個 人	男女ともダブルスは 2 位、シングルスは 3 位（上位 4 名）まで
  - ② 四国 I H

団 体	男女とも 3 位（上位 4 校）まで
個 人	男女ともダブルスはベスト 8、シングルスはベスト 16 まで
- (11) シングルスベスト 4 の選手は、国体 2 次予選の出場資格を得る。  
尚、国体 2 次予選を辞退する選手は、国体 1 次予選までに専門委員長へ申し出る事。
- (12) 学校対抗の選手変更については以下の条件で認めることができる。
  - ① 病気等によりやむを得ない場合は、所定の用紙に学校長の押印のうえ必要事項を記入し、診断書を添え、当該大会監督会議までに競技運営委員長に届け出て、承認を得るものとする。
  - ② シングルス又はダブルスにエントリーされている選手を、新たに学校対抗のメンバーに加えることはできない。
- (13) その他、必要な事項は運営委員会が決定する。
- (14) 顧問会を第 1 日目 8 時 20 分より行う。
- (15) プログラムは上記HPからダウンロードし各校で準備すること。

選 手 名
学 校 名